

# 「瀬戸内海の環境の保全に関する 徳島県計画」の進捗状況について

令和8年1月16日

徳島県生活環境部環境管理課

# 瀬戸内海の環境保全について

## ○排水規制

昭和46年 水質汚濁防止法

昭和48年 瀬戸内海環境保全臨時措置法

(昭和53年瀬戸内海環境保全特別措置法に)

## ○総量削減

昭和55年 CODの総量規制

平成14年 窒素・りんの総量規制

## ○瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく国、府県の計画

昭和53年 (国) 瀬戸内海環境保全基本計画

昭和56年 瀬戸内海環境保全に関する徳島県計画

# 瀬戸内海の現状

- ・ 様々な対策の結果、水質は一定程度改善
- ・ 気候変動による水温の上昇
- ・ 窒素、りん等の栄養塩類の不足等による養殖ノリ・ワカメの色落ち、生育不良
- ・ 海洋プラスチックごみの問題



(左) 正常なノリ製品

(右) 色落ちしたノリ製品

# 瀬戸内海環境保全特別措置法の改正

- ▶ 令和3年6月改正
  - ▶ 気候変動の観点の基本理念に追加
  - ▶ 特定の海域への栄養塩類の供給を可能とする「栄養塩類管理制度」の創設
- 令和4年2月、瀬戸内海環境保全基本計画の変更

# 瀬戸内海の環境の保全に関する 徳島県計画の変更（令和5年3月）

計画の変更について環境審議会でご審議

令和4年10月 環境審議会生活環境部会

11月 県議会報告

パブリックコメント

令和5年1月 環境審議会生活環境部会

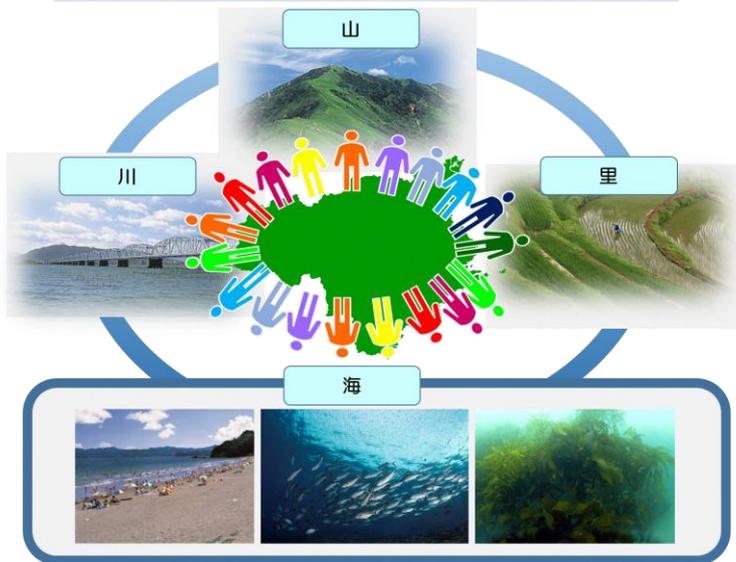
2月 県議会報告

3月 告示、変更

# 計画の目標

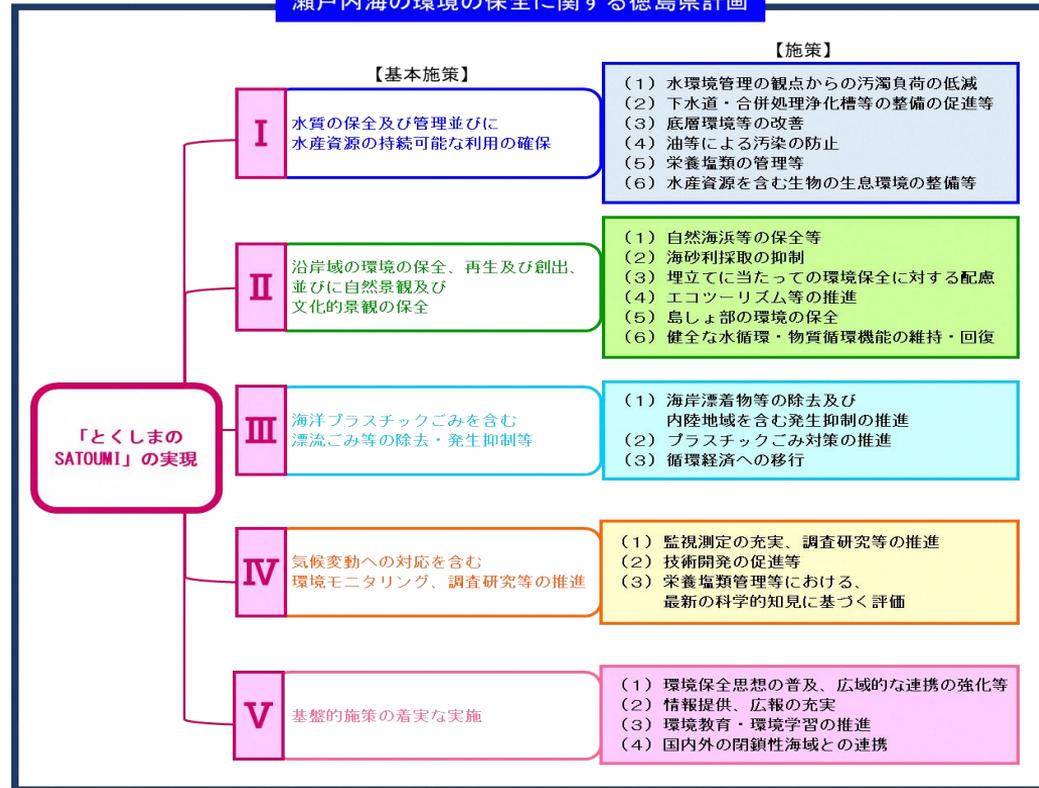
山・川・里・海の水や物質循環を一体的に捉え、  
県民総ぐるみによる、水質が良好で生物多様性・生産性が  
確保された「とくしまのSATOUMI」の実現を目指す

未来につなぐ！きれいで豊かな「とくしまのSATOUMI」



# 基本施策

## 瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画



# 指標

- ・ 5つの基本施策について全41項目の指標を設定
- ・ 毎年度進捗を把握（資料3-1参照）

# 環境基準

環境基準とは

人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準

公共用水域と地下水のそれぞれに  
環境基準が設定されている

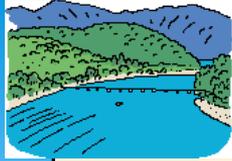
※ 公共用水域とは

河川、湖沼、港湾、沿岸海域  
など広く一般の利用に開放された  
水域及びこれらに接続する下水路、  
用水路など

※ 地下水とは

自然の状態で地下に存在する水

# 公共用水域の環境基準



## 生活環境の保全

生活環境項目：13項目

水生生物保全項目：3項目

健康項目：27項目

## 人の健康の保護



地下水の環境基準

28項目（公共用水域の健康項目とほぼ同じ）

# 生活環境項目

河川	海域
水素イオン濃度 (pH)	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	
	化学的酸素要求量 (COD)
浮遊物質 (SS)	
溶存酸素量 (DO)	
大腸菌数	
	N-ヘキサン抽出物質
	全窒素
	全りん
	底層溶存酸素量
	全亜鉛
	ノニルフェノール
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)

水生生物  
保全項目  
:3項目

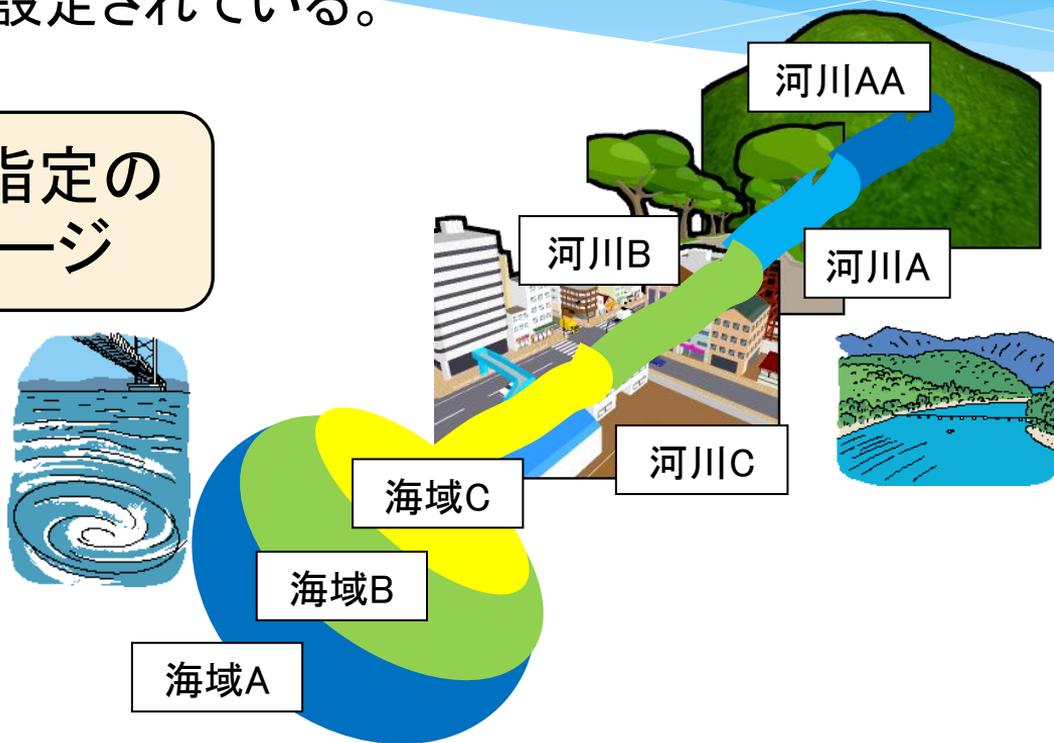
# 類型指定

類型：利水目的等に応じた「ランク付け」

水域ごとに指定する。

類型に応じて、環境基準（生活環境項目）が  
設定されている。

類型指定の  
イメージ



# 徳島県の河川の類型指定

26水域が指定されている

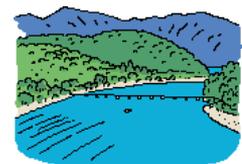
吉野川は国、吉野川以外は県が指定

BOD等の類型(AA~C)と水生生物類型(生物A、B)

類型	BOD基準値 (mg/L)	該当河川
AA	1	吉野川上流、勝浦川上流、那賀川上流、海部川上流
A	2	吉野川下流、旧吉野川上流、勝浦川下流、那賀川下流、桑野川上流、福井川、椿川、日和佐川、牟岐川、海部川下流、母川、宍喰川
B	3	旧吉野川下流、撫養川、今切川下流、桑野川下流、岡川、新町川下流
C	5	今切川上流、新町川上流、神田瀬川、打樋川

↑  
きれい(厳しい基準)

類型	ノニルフェノール基準値(mg/L)	該当河川
生物A	0.001	吉野川上流
生物B	0.002	吉野川下流



# 徳島県の海域の類型指定

県により11水域が指定されている

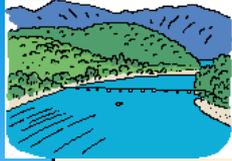
COD等の類型(A~C)と全窒素・りんの類型(Ⅱ,Ⅲ)

類型	COD 基準値(mg/L)	該当海域
A	2	那賀川河口、椿泊湾、県南沿岸海域、県北沿岸海域、紀伊水道海域(A)、橘港
B	3	小松島港(B)、勝浦川河口、紀伊水道海域(B)
C	8	富岡港、小松島港(C)

類型	全窒素	全りん	該当海域
	基準値(mg/L)		
Ⅱ	0.3	0.03	県北沿岸海域、紀伊水道海域、橘港
Ⅲ	0.6	0.05	小松島港



# 公共用水域の環境基準



## 生活環境の保全

生活環境項目：13項目

水生生物保全項目：3項目

健康項目：27項目

## 人の健康の保護



### 地下水の環境基準

28項目（公共用水域の健康項目とほぼ同じ）

# 健康項目 全国一律の基準値

重金属類		7項目
揮発性有機化合物	公共用水域	12項目
	地下水	13項目
農薬		3項目
その他		5項目
計	公共用水域	27項目
	地下水	28項目

## 公共用水域と地下水の違い

- 地下水にはクロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)が追加されている



# 公共用水域の測定

類型指定と合わせて設定された環境基準点及び補助点、それ以外の補助点で実施

## 37河川(75地点)

吉野川、旧吉野川、撫養川、今切川、新町川、勝浦川、神田瀬川、那賀川、桑野川、岡川、打樋川、福井川、椿川、日和佐川、牟岐川、海部川、母川、宍喰川など

## 9海域(31地点)

県北沿岸海域、紀伊水道海域、県南沿岸海域、勝浦川河口、小松島港、那賀川河口、富岡港、橘港、椿泊湾

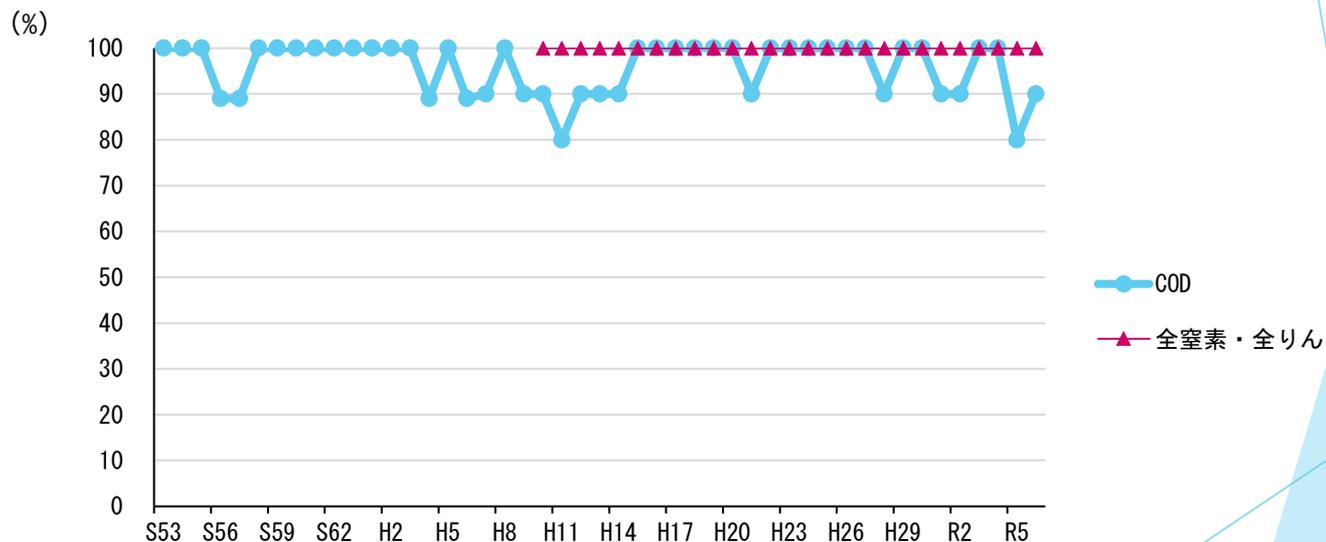
一部の地点では底質も測定





# 環境基準達成状況

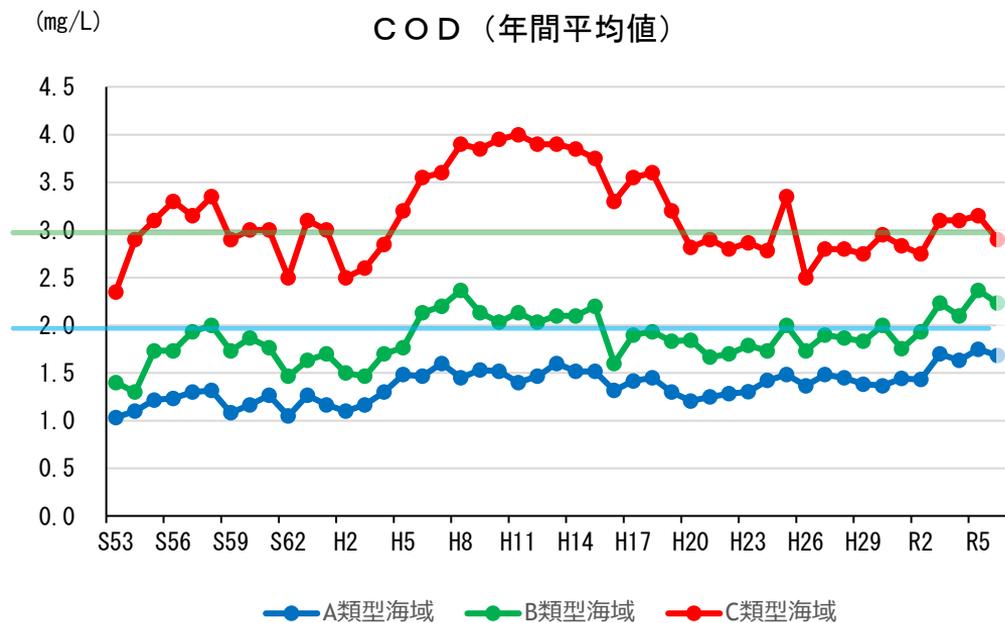
R6年度はCODの達成率91%、全窒素、全りん  
の達成率100%  
(有機汚濁) (栄養塩類)



# 有機汚濁状況の推移（海域）

C類型 環境基準 8.0

近年はおおむね横ばいだが、直近数年にわずかな上昇



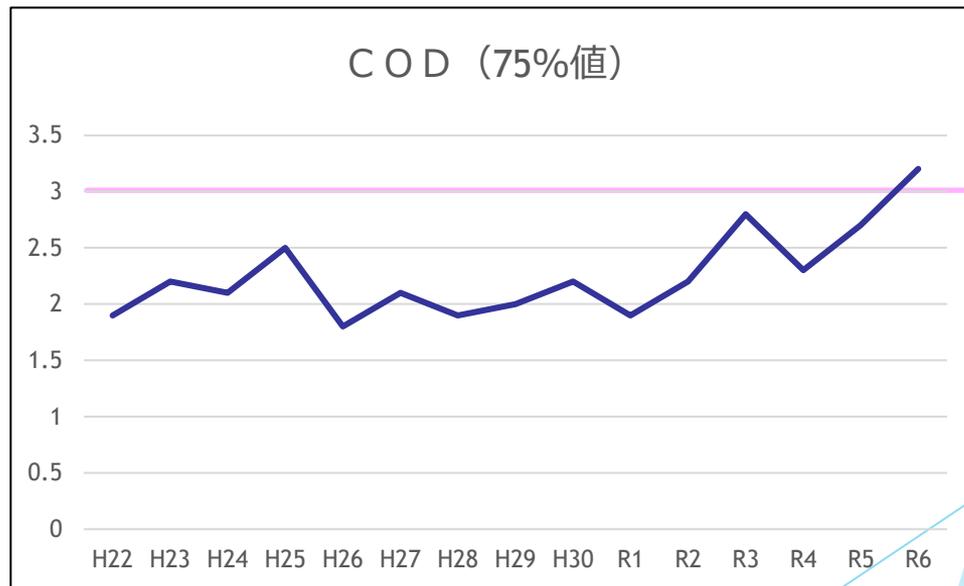
B類型 環境基準 3.0

A類型 環境基準 2.0

# 有機汚濁状況の推移（海域）

紀伊水道海域B St-9は、環境基準超過（3.2mg/L）

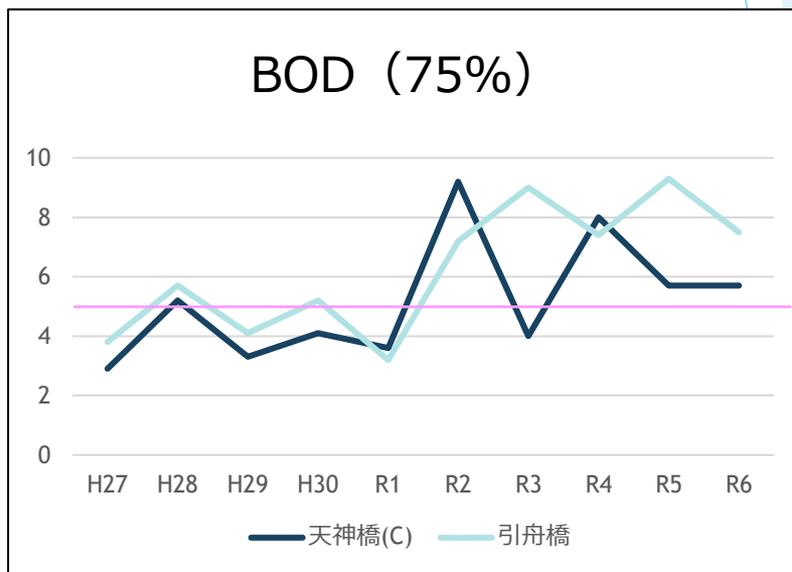
紀伊水道海域B  
St-9



B類型 環境基準 3.0

# 有機汚濁状況の推移（河川）

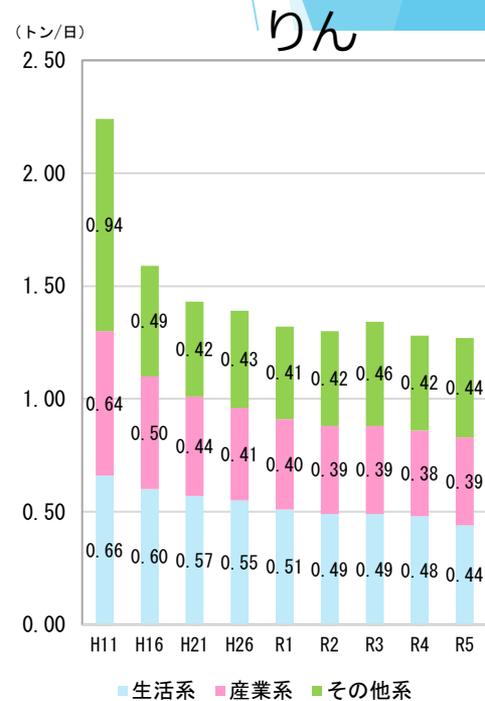
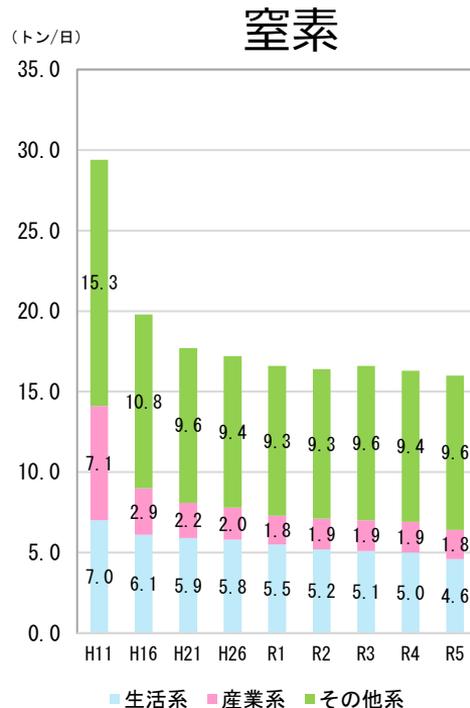
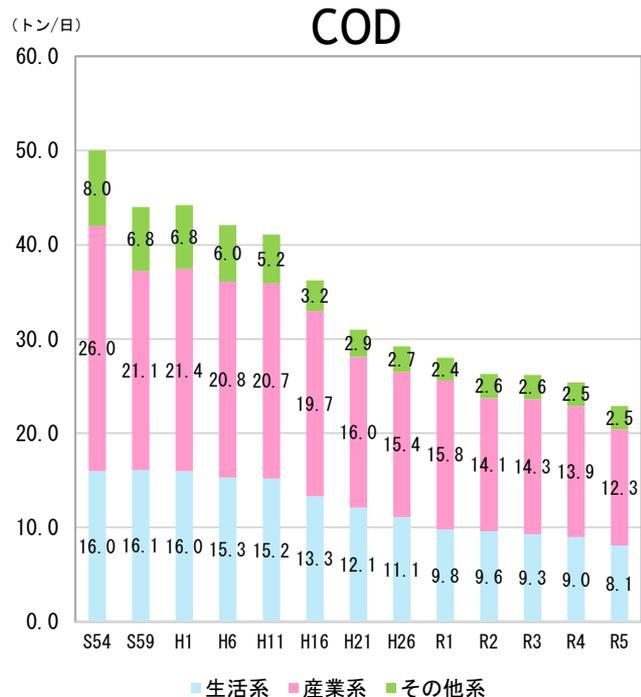
ほとんどの河川は環境基準を下回った濃度帯で推移  
BOD（75%）では、打樋川（天神橋）で基準超過



C類型 環境基準  
5.0

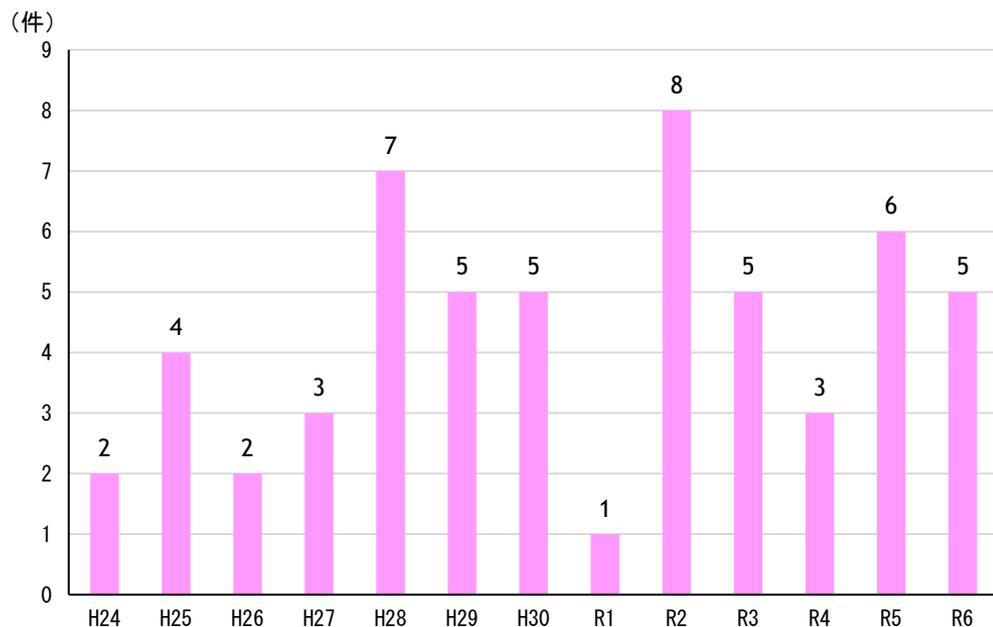
# 汚濁負荷量

## COD、窒素、りんともに減少傾向

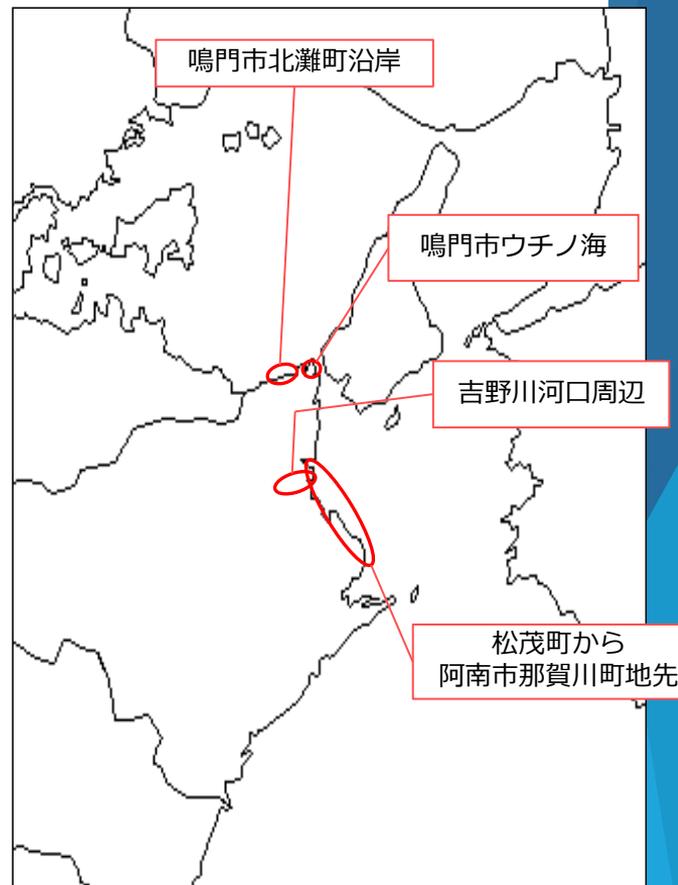


# 赤潮発生件数

毎年数件は発生



R6年度 赤潮発生場所



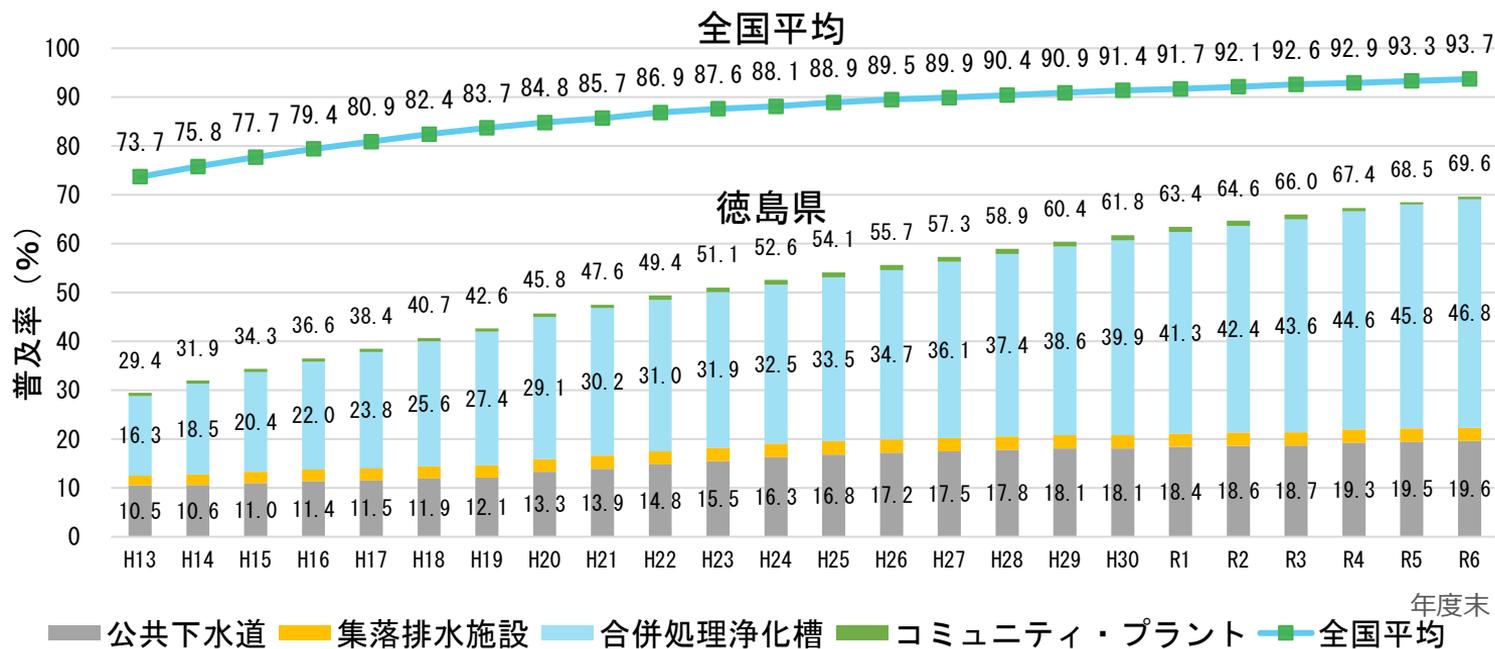
# 化学物質排出移動量届出制度に基づく 公共用水域への届出排出量

令和5年度 年間1万7700kgの増加（2年ぶりに増加）  
→法改正により、対象化学物質が増加したため  
（462物質→515物質）

年度	R3	R4	R5
Kg/年	43,953	40,426	58,111

# 污水処理人口普及率

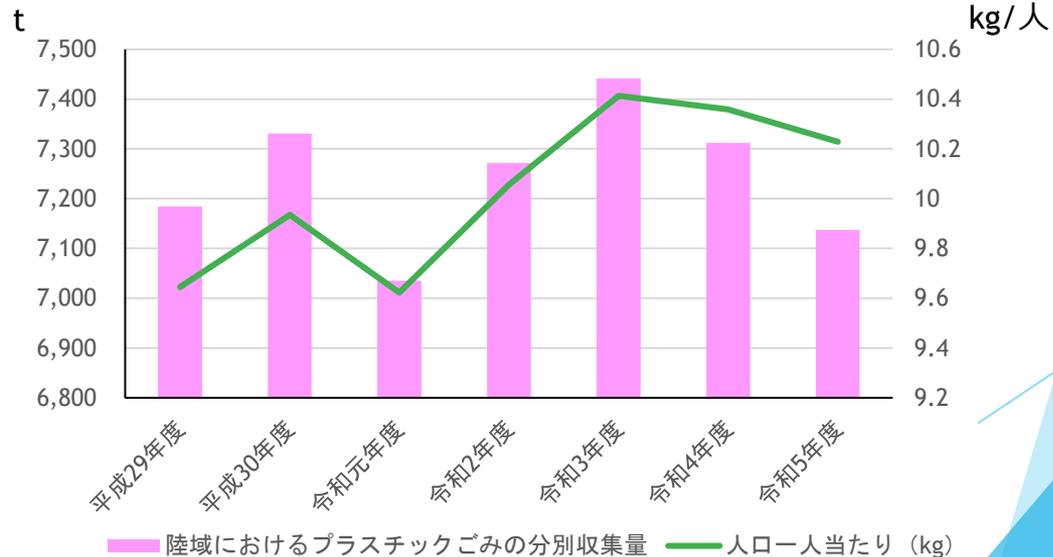
合併処理浄化槽、下水道の整備により漸増傾向



# 陸域におけるプラスチックごみの 分別収集量

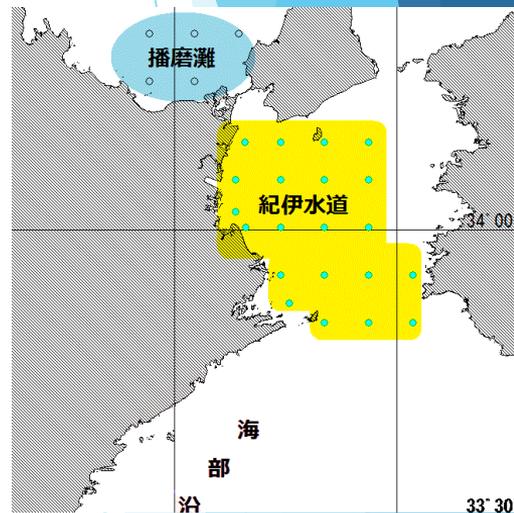
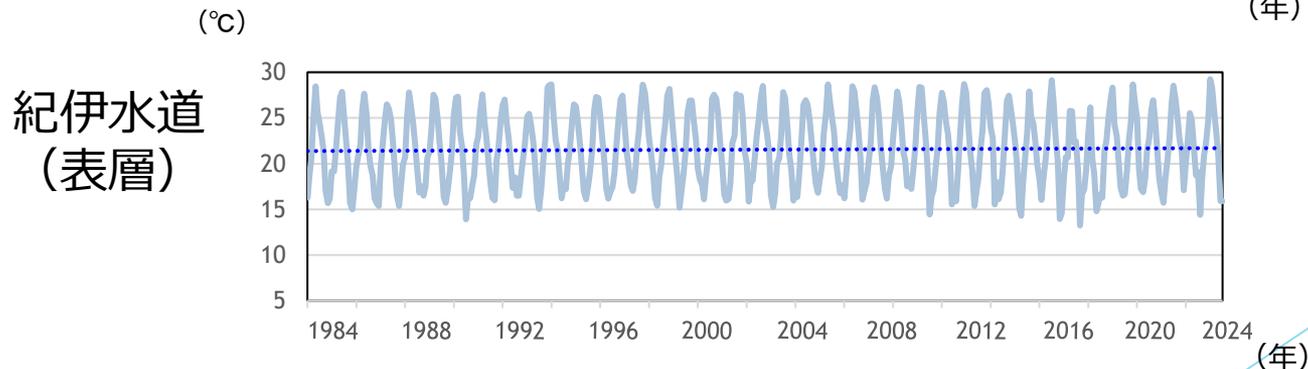
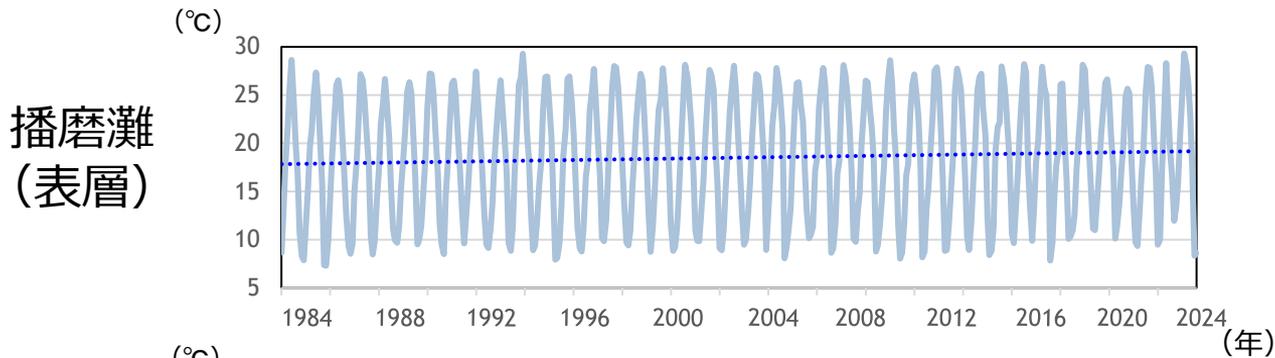
人口1人当たりの分別収集量

令和3年度にかけ増加し、その後は同水準で推移



# 水温

播磨灘は近似曲線が右上がり（長期的な上昇傾向）



# 里海創生リーダーの育成

H30年度から地域での里海づくりの活動を担う  
「リーダー」を育成する講座を実施

生き物観察会で説明役を担うリーダー



自主的なビーチコーミングや生物調査結果を報告



# 里海創生リーダーの認定数

累計314名、4団体をリーダーに認定

## 里海創生リーダー認定数（累計）

(人・団体)

